

## 7) 塗膜成分分析調査

試験部位	既存塗膜 平均膜厚 ( $\mu\text{m}$ )	試験 区画面積 ( $\text{m}^2$ )	はく離剤 塗布量 (g)	$\text{m}^2$ 当りの はく離剤 の塗布量 ( $\text{kg}/\text{m}^2$ )	塗膜回収 重量 (g)	$\text{m}^2$ 当りの 塗膜回収 重量 ( $\text{g}/\text{m}^2$ )
主桁	273	0.25	250	1.00	170	680

試験区画面積： $0.5\text{m} \times 0.5\text{m} = 0.25\text{m}^2$



分析の結果、鉛および鉛化合物が  $49,000\text{mg}/\text{kg}$  が確認されたことから、下塗りに鉛系の塗装剤が使用されていたと考えられる。その撤去にあたっては、基安労発 0530 第 1 号、基安化発 0530 第 1 号「鉛等有害物を含有する塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について」に適した作業を実施することが必要である。

また、総クロムの含有量は  $1,000\text{mg}/\text{kg}$  超であり、鉛含有量およびクロム含有量のいずれも基準値を超えており、特別管理産業廃棄物に該当するという結果となった。

表 4.3 塗膜調査（含有量試験）結果

有害物種別	測定分析結果	判定	備考
鉛	$49000\text{mg}/\text{kg}$ (4.9%)	鉛含有量 0.06%以下 クロム含有量 0.03%以下	定量下限値 $600\text{mg}/\text{kg}$
総クロム	$1000\text{mg}/\text{kg}$ (0.1%)	1項目でも超えると特別管理産業 廃棄物として取り扱う	定量下限値 $300\text{mg}/\text{kg}$

※ $1\text{mg}/\text{kg} = 1\text{PPM}$ 、 $1\% = 10000\text{PPM}$

